

早稲田大学 vs 日本体育大学

10月6日(日)
11:30K.O.
駒補

前節は後半戦好調の国士大と対戦した早大。ここが大きな山場だったが、結果は2-2のドローに終わった。「勝ちきらなければいけない試合だった。相手の強みであるリスタートを与えてしまい、警戒はしていたが対応しきれなかったことが悔やまれる」(古賀聡監督)

失点はいずれもCKからと、悔しい引き分け。「前半は非常に相手の嫌がるプレーを選択しながら、自分たちのアクション主導でプレーできた」(古賀監督)

しかし、後半に入るとプレッシャーがかけきれなくなり、スペースを広げられてサイドからクロスという形を作られ、何度か危ない場面があった。

これで、首位・専大との勝点は7まで開いてしまった。直接対決が残っているとはいえ、これ以上は絶対に離されたくない。負けられない試合が続く。

前半戦を3位で折り返した日体大だが、現在は10位まで順位を落とした。前節も筑波大に1-3の敗戦。「ボールを奪ってからパスを丁寧につなぐことができた」(倉又寿雄監督)

というように、試合内容自体は徐々によくなってきているが、それが結果に結びつかないし、何より3失点と守備面が不安定。

「あと少しのところまで相手のドリブルについていけない点は、修正しなければいけない」(倉又監督)

前半は相手の攻撃をしっかりと抑え、まずまずの戦いができていたが、それを90分続けることができなかったのが問題。ただ、明るい兆しは見えているだけに、次はしっかりと結果に結びつけたいところ。

「勝てない状況が続いているが、チームとしてぶれないで、1試合1試合を大事に戦っていききたい」(倉又監督)

警告3回:池西希(早大)、梅村徹、北脇健慈、宮内啓汰(以上日体大)

前回の対戦:早大1-1(シュート数3-6)日体大

早大		日体大	
6. 三竿	8. 近藤洋	7. 梅村	24. 横野
3. 金沢	10. 榎本	14. 長谷川	3. 広瀬
	5. 池西		10. 稲垣
1. 松澤			21. 大野
	4. 中田		33. 小泉
2. 奥山	25. 宮本	11. 北脇	13. 川田
26. 西山	7. 近藤貴	15. 阿部	2. 宮内

専修大学 vs 明治大学

10月6日(日)
13:50K.O.
駒補

首位をキープしている専大だが、内情を見ると喜んではいられない。前節の東洋大戦も、「負け試合だった」(源平貴久監督)

前半24分にGK福島春樹(2年)が退場し、数的不利に立たされたということもあるが、それでも相手に攻め込まれる時間帯が長く苦しかった。先制点を奪いながら同点弾を献上。何とか試合終了間際に勝ち越しゴールを奪って勝点3を積み重ねたが、攻撃面を含めてもう少し自分たちらしいサッカーを表現していきたい。

「守備陣がおぼつかない。ケガ人が復帰するのを期待しながらやっていくしかない」(源平監督)

ケガ人、さらにU-20日本代表に福島春樹(2年)が選出(今節は出場停止)されるなど、思うようにメンバーが組めないだけに、我慢のサッカーが続くのは間違いないが、もう少し調子を上げていきたい。

ようやく調子が上がってきた明大。前節も慶大を2-0で下し、連勝を飾った。

「慶大は苦しんでいる状況で、相当気合を入れてくると思ったので、それに負けまいとしようと臨んだ。結果、勝ててよかった」(神川明彦監督)

このところ失点が続いていたが、この日は完封。

「守備は本当に落ち着いて対応できていて、無失点に抑えることができてよかった」(神川監督)

一方で攻撃面は、単調なシーンも多かっただけに、修正が必要。順位を3位まで上げた明大が、ここからどのような戦いを見せるのか注目だが、こちらも山越康平(2年)、和泉竜司(2年)が東アジア競技大会メンバー選出のため不在。チーム力が試される試合となりそうだ。

出場停止:福島春樹(専大)、山越康平(明大)

警告3回:前澤甲気(専大)

前回の対戦:専大4-1(シュート数13-7)明大

専大		明大	
18. 東		7. 梅内	12. 室屋
38. 飯田	13. 北出	28. 矢島	13. 小池
	8. 下田		6. 水野
16. 奥山	3. 萩間	7. 長澤	1. 三浦
	14. 星野		16. 差波
30. 富田	10. 仲川	22. 藤本	4. 小出
2. 北爪		27. 石原	14. 松藤

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.15 Division1



編集:加茂郁実 発行:関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

明大が3位に浮上!

10月に突入し、さらに熱い戦いが続いている「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。まずは、前節の模様を振り返ってみよう。毎試合、苦しい戦いながらも首位をキープしている専大。前節は最下位・東洋大との対戦で、前半24分にGK福島春樹(2年)が退場して数的不利に立たされた。それでも、何とか2-1で東洋大を下して連勝、首位をキープした。東洋大は最下位脱出ならず。

2位の早大と後半戦絶好調の国士大の一戦。互いに一歩も譲らず好ゲームを展開したが、2-2のドロー。痛み分けに終わった。

3位をキープしたい桐蔭大と上位に食い込みたい流経大の戦いは、前半30分に流経大が先制。反撃を仕かけたい桐蔭大だったが、33分にMF能條泰一(4年)が退場。奮闘したものの数的不利は何ともしがたく、そのまま流経大が1-0で逃げきり5位に順位を上げた。逆に、桐蔭大は4位にダウン。

ようやくエンジンがかかってきた明大と、後半戦、停滞している慶大の一戦は、両チームの状態が結果に表れた。明大が2-0で慶大を下して3位に浮上。慶大は11位と、降格圏脱出はならなかった。

中大 vs 順大は、中大が前半8分に先制点を奪ったが、その後、順大が2ゴールを挙げて2-1で勝利を取った。中大は5位から7位まで順位を落とし、

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	11点
長澤 和輝(専大)	8点
榎本 大希(早大)	7点
坪井 秀斗(桐蔭大)	7点
和泉 竜司(明大)	7点

アシストランキング

仲川 輝人(専大)	4アシスト
北爪 健吾(専大)	4アシスト
榎本 大希(早大)	4アシスト
中野 嘉大(筑波大)	4アシスト
橋本 拓門(国士大)	4アシスト

順大は8位へ浮上した。後半戦不調の日体大と好調を持続する筑波大の一戦は、筑波大が3-1で日体大を下した。前半戦終了時点で3位だった日体大は、10位まで順位を落としてしまった。

今節、順位変動が多くあったが、それだけ混戦だということ。今後、さらに波乱が起きるのは間違いがないだけに、目の離せない戦いが続く! また、東アジア競技大会に参加するU-20日本代表に関東大学リーグから5名が選出され、ここから2節欠場となる。専大、明大、順大は影響をささず、総合力で勝ちきることができるかに注目だ。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が延期のため暫定順位 日程未定

順位	チーム名	専大	早大	明大	桐蔭大	流経大	筑波大	中大	順大	国士大	日体大	慶大	東洋大	試合数	勝数	敗数	引き分け	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	201	401	602	203	201	502	201	201	101	101	601	301	14	11	1	2	39	18	21	34
2	早大	102	201	101	300	100	201	001	201	101	201	100	100	14	8	3	3	21	16	5	27
3	明大	104	102	302	000	000	103	401	201	000	202	001	14	6	4	4	23	19	4	22	
4	桐蔭大	206	101	203	301	001	101	302	100	100	201	102	14	6	2	6	22	22	0	20	
5	流経大	302	003	000	103	101	000	000	101	002	301	100	14	5	5	4	15	17	-2	20	
6	筑波大	102	001	000	100	101	002	301	102	302	未定	505	13	5	4	4	22	18	4	19	
7	中大	205	102	301	101	000	200	200	102	001	100	101	14	5	4	5	18	17	1	19	
8	順大	102	100	104	203	000	103	002	500	101	602	202	14	5	3	6	26	22	4	18	
9	国士大	100	202	足利	千葉東総	たつこの	フクアリ	駒二	古河	001	401	1109	14	5	2	7	19	23	-4	17	
10	日体大	101	101	000	001	200	203	100	101	100	102	301	14	4	4	6	15	20	-5	16	
11	慶大	106	102	202	102	103	未定	001	206	302	201	201	13	3	1	9	16	35	-19	10	
12	東洋大	103	001	100	201	001	505	101	202	102	103	102	14	2	3	9	20	29	-9	9	

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

順天堂大学 vs 東洋大学

10月5日(土)
11:30K.O.
古河

「内容うんぬんではなく、勝点を取れたことを大変うれしく思っている」（吉村雅文監督）

中大を2-1で下した順大だが、全員が90分間しっかりと走りきり、先制点を奪われても逆転するパワーを発揮したのは成長した証し。一方で、「押し込まれるとあわててしまい、自分たちの時間が作れなかった」（吉村監督）

というように、後半はやや相手に攻め込まれて、後手に回ってしまった。

「奪ったあとのボールを大事にしていかなければいけない」（吉村監督）

まだまだ修正すべきところも多いが、後半戦は試合内容がしっかりと結果に結びついているのが大きい。一方で、東アジア競技大会のメンバーに新井一輝（2年）、長谷川竜也（2年）が選出され、ここから2節欠場となる。その影響が心配されるが……。

「数的優位を生かせず勝てなかったので、残念であり、痛い敗戦」（東洋大・古川毅監督）

前節の専大戦を振り返ると、相手が前半24分に退場者を出しながらも、その後、まさかの2失点。1点しか奪えず1-2の敗戦を喫してしまった。

「首位を相手に戦う気持ちや、先に点を取られても追いつくなどの前への推進力はあった」（古川監督）

というように、試合内容は完全に東洋大ペース。しかし、なかなかゴールを決められず、相手にチャンスを実に決められて失点してしまった。いい試合をしながら勝てないだけに、チームの雰囲気も重くなりがちだが、「勝点3を取るしか生き残る術はないので、勝つことができるように1週間、準備したい」（古川監督）

警告3回：宮本和輝（順大）
前回の対戦：順大2-2（シュート数5-8）東洋大

順大			東洋大		
13. 宮本	7. 和田		15. 斉藤	7. 馬渡	
29. 矢部			29. 仙頭	5. 藤井	
	15. 青木			10. 桑田	
1. 川口	8. 天野	11. 原田			1. 浅沼
	6. 岡崎			6. 石川	
	3. 清水		9. 三田	16. 筑井	
16. 吉永	10. 井村		11. 黒須	14. 平石	

流通経済大学 vs 国士舘大学

10月6日(日)
11:30K.O.
たつのこ

2試合連続無失点で2連勝を飾った流経大。

「今年初めて、リーグ戦で連勝できた。すべての面で満足しているわけではないが、よかったと思う」（中野雄二監督）

桐蔭大との前節は、相手が前半のうちに退場者を出して数的優位に立ったが、

「守備のところでは危ない場面もなく、失点がなかったことは評価できる」（中野監督）

というように、守備面の安定が大きい。一方で、「攻撃面ではセットプレーからの1点しか取れていないので、もっと攻撃的に攻めてほしい」（中野監督）

守備面でメドが立っただけに、今後は攻撃面でどれだけ力を発揮できるか。

「国士大は、後半戦絶好調なので、調子のいいチームと対戦して、どれだけやれるのかを試してみたいと思う」（中野監督）

前節は2位・早大と対戦した国士大。常に先手を奪われる苦しい展開だったが、後半のアディショナルタイム2分に同点に追いつき、勝点1を手中に収めた。後半戦はここまで負けなしと絶好調だ。

「後半は相手に対するプレスが速く、その後の展開もス

ピーディーだった。守備をする早大から点が取れて、負けなかったのはよかった」（細田三二監督）

しかし、前半の戦い方には課題が残ったのも事実。「前半はボールが散らせず、そのぶん、相手に引っかけられて時間を与えてしまった、ボールが前に収まらなかった」（細田監督）

ここからは、対戦相手もかなりマークしてくるはず。もう一歩、成長できるかどうか。

警告3回：平松宗（国士大）
前回の対戦：流経大1-1（シュート数10-9）国士大

流経大			国士大		
29. 橋本	14. 西谷		26. 佐々木	2. 石川	
28. 藤原		18. 田上	10. 新村	3. 吉田	
	25. 古波津			7. 橋本	
1. 八巻					1. 小澤
	6. 富田			33. 池ヶ谷	
5. 川崎		27. 藤山	16. 平松	4. 今瀬	
2. 湯澤	7. 中山		14. 進藤	22. 藤寄	

中央大学 vs 慶應義塾大学

10月5日(土)
13:50K.O.
古河

前節、順大に1-2で敗れ、首位との差は15ポイントまで開いてしまった中大。このままでは、インカレ出場も厳しい状況に追い込まれてしまう。

前半8分に先制点を奪ったところまではよかったが、「その後、主導権を握って自分たちのペースでサッカーをすることができなかった。最後までドタバタしてしまい、自滅してしまった」（白須真介監督）

35分にFKを直接決められて同点に追いつかれたのを境に、ペースは順大へ。相手のパス回しを分断することができなかった。

「1点を取って、下がってしまった」（白須監督）

後半戦、なかなか勝ちきれない状況からか、やや弱気な姿勢でたたみかけることができなかったのが、結果的に敗戦を招いてしまった。

「メンタルの部分。どんな状況でも動じないように、1週間見直してやっていきたい」（白須監督）

後半戦、なかなか勝ちきれず4連敗を喫している慶大。前節の明大戦も0-2の敗戦となってしまう、泥沼にはまっているが、内容に目を向けると決して悪いことばかりではない。

「途中、試合に出ている、出ていないにかかわらず、4

年生が何かをしなければいけないという思いでチームの雰囲気を変えて戦ってくれた。前半はわれわれがやろうとしていた人に厳しく、なおかつボールを持ったらサポートし、数的優位を作ってボールを持たせるというプレーができていた」（須田芳正監督）

しかし、それが得点につながらないのがもどかしい。復調の兆しが見えるだけに、結果に結びつきたい。

警告3回：小出啓太、細見諒、岡崎亮平（以上中大）、松下純土、溝淵雄志（以上慶大）

前回の対戦：中大1-0（シュート数11-3）慶大

中大			慶大		
6. 高瀬	10. 澤田		2. 岩田	3. 飯高	
12. 小出				13. 望月	
	4. 細見			5. 増田	
1. シュミット	25. 渋谷	19. 皆川	15. 山本	16. 加瀬澤	1. 峯
	8. 田辺			8. 松下	
24. 岡崎				4. 保田	
13. 鈴木	7. 砂川		20. 端山	19. 溝淵	

桐蔭横浜大学 vs 筑波大学

10月6日(日)
13:50K.O.
たつのこ

流経大に0-1の敗戦を喫してしまった桐蔭大。

「早い時間帯に退場者を出したので、非常に厳しい試合になったが、押し込まれる状態が続いても大量失点をすることなく、最後まで引き分けの可能性を残しながら戦えたのがよかった」（八城修監督）

先制点を奪われた直後の前半33分に、能條泰一（4年）が退場してしまったのは確かに響いたが、そういった状況の中でもゴールを目指してしっかりと戦った。

「人数が減っても引いて守ってカウンターではなく、自分たちでボールを動かして、11人いるような形でゲームができていた」（八城監督）

ただ、ラストボールの質が悪いこともあって、1点を奪うことができずに敗戦。筑波大戦では何とか勝点に結びつけたいところだ。

後半戦、調子がいい筑波大。前節も日体大を3-1で下した。

「しっかりと勝点3を取ることができてよかった。自分たちでボールを持つことができたし、相手が引いた状態でも落ち着いてプレーできた」（中山雅雄監督）

前半は相手の固い守備に手こずったシーンがあったが、後半は選手交代を絡めてさらに攻撃のパワーを高

め、2分のゴールを皮切りに一気に3点を奪って試合を決めた。

一方で、PKの流れからによる1失点もそうだが、「守備面では反則が多く、バタバタしてしまった。落ち着いた守備をやるようにしたい」（中山監督）

ケガ人が復帰し、攻撃面でパリエーションが増えてきたのは明るい材料だ。

出場停止：熊條泰一（桐蔭大）、警告3回：古澤慶太、山根視来（以上桐蔭大）、車屋紳太郎、上村岬、谷口彰悟、中野嘉大、若杉拓哉（以上筑波大）

前回の対戦：桐蔭大0-1（シュート数4-12）筑波大

桐蔭大			筑波大		
16. 長谷	11. 山根		11. 中野	18. 早川	
6. 福島			19. 若杉	17. 西村	
	9. 大泉			2. 田代	
1. 島崎	14. 上野	20. 今関			1. 神倉
	19. 佐々木			7. 葦本	
4. 古澤			9. 赤崎	5. 車屋	
3. 香西	8. 山崎		13. 曾山	12. 三丸	